



キャビネットおよびラックへの設置

- [キャビネットおよびラックの要件 \(1 ページ\)](#)

キャビネットおよびラックの要件

このセクションでは、次のタイプのキャビネットおよびラックが、0～40℃の外部周囲温度範囲に置かれた場合の Cisco MDS 9000 シリーズ スイッチの要件について説明します。密閉型キャビネットを選択する場合は、次の熱検証済みタイプのいずれかを選択することをお勧めします。

- 標準穴あき型キャビネット
- ルーフ ファン トレイ（下から上への冷却用）付きの 1 枚壁型キャビネット

キャビネットおよびラックの一般的な要件

キャビネットまたはラックは、次のいずれかのタイプである必要があります。

- 標準 19 インチ、取り付け支柱が ANSI/EIA-310-D-1992 セクション 1 に基づく英国ユニバーサル ピッチの規格に準拠している 4 支柱 EIA キャビネットまたはラック。[穴あきキャビネットに固有の要件](#)および[ソリッドウォールキャビネットに固有の要件](#)を参照してください。
- 標準の、取り付け支柱が ANSI/EIA-310-D-1992 セクション 1 に基づく英国ユニバーサル ピッチの規格に準拠している 2 支柱 Telco ラック。

また、キャビネットまたはラックは、次の要件を満たしている必要があります。

- シャーシあたりの縦方向の最小ラック スペースは 1 RU、つまり 4.4 cm (1.75 インチ) である必要があります。
- 取り付け支柱内側端の間の幅は、少なくとも 45.1 cm (17.75 インチ) 必要です。これは、4 支柱 EIA ラックの場合、前方の 2 本の支柱の距離になります。
- RU あたりの最小ラック負荷定格を次の表に示します。

ラックタイプ	
EIA (4 支柱)	7.5 ポンド (3.4 kg)
Telco (2 支柱)	6.8 kg (15 ポンド)

4 支柱 EIA キャビネット（穴あき型または 1 枚壁型）の場合：

- FC ポートの光ファイバパッチケーブルの曲げ半径を考慮して、前面扉と前面の取り付け支柱の間の距離は 7.6 cm (3 インチ) 以上にする必要があります。
- Cisco ラック取り付けキットを取り付けられるように、前方取り付け支柱の外表面と後方取り付け支柱の外表面の距離は、66～81 cm (26～32 インチ) となっている必要があります。
- シャーシの背面とキャビネットの穴あき型背面ドア間（使用する場合）の距離は最小 7.6 cm (3.0 インチ) です。キャビネットのエアフローに必要なからです。
- シャーシと側およびラックまたはキャビネットの側面のスペースは不要（横方向のエアフローなし）。
- インターフェイスケーブルに必要なスペースは、最小 7.6 cm (3 インチ)、モジュールハンドルは最小 25 mm (1 インチ) です。



- (注)
- キャビネットオプションのジャンパ電源コードが使用できます。
 - Cisco MDS スイッチは、シスコのラック (Cisco R42612 など) および PDU と互換性があります。

穴あき型キャビネットの要件

前面背面エアフローを実現するために使用する穴あき型キャビネットは、[キャビネットおよびラックの一般的な要件](#)のセクションに示した要件のほかに、次の要件も満たしている必要があります。

- 前面扉および背面扉の全体に穴があり、面積の 60% 以上の穴が開いていること。扉の高さの 1 RU あたり 96.7 平方 cm (15 平方インチ) 以上開いていること。
- 上面も面積の 20% 以上の穴が開いているものを推奨します。
- 冷却を強化するために、キャビネットの床は開いたままにするか、穴あき板を取り付けることをお勧めしますが、必須ではありません。

リファレンス穴あき型キャビネット

これらの要件に適合する穴あき型キャビネットは、Rittal Corporation から入手できます。

Rittal Corporation One Rittal Place Springfield, OH 45504 電話: (800) 477-4000
キャビネット P/N: Rittal 9969427 キャビネットの説明: PS-DK/OEM キャビネット アセンブリ、1998 x 600 x 1000 (H x W x D) (42U)

1 枚壁型キャビネットの要件

1 枚壁型キャビネットは、[キャビネットおよびラックの一般的な要件](#)セクションに示した要件のほかに、次の要件も満たしている必要があります。

- ルーフ ファントレイと冷却機構が利用可能なこと。このファントレイは、キャビネットの最下部から空気を引き込んで最上部から送出するもので、ファントレイを通る、キャビネット上部に必要なエアフロー排出量は $849.5\text{m}^3/\text{h}$ 以上です。
- 下から上に適切に通気されるように、前面扉、背面扉、および両側面が存在し、すべて閉鎖型（穴なし）であること。
- 扉を閉じて十分なエアフローを確保するため、キャビネットの奥行きが $91.4\sim 106.7\text{cm}$ （ $36\sim 42$ インチ）であること。
- キャビネットの床面吸気口として、 968 平方センチメートル（ 150 平方インチ）以上が開いていること。
- 吸気を妨げないように、最下部の機器を床面開口部から最低 1RU （ 4.4cm 、つまり 1.75 インチ）上に設置できること。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。